



たね  
**種がないのにどうしてダイコンができるの**

ダイコンには、きれいな花が咲き、種ができる

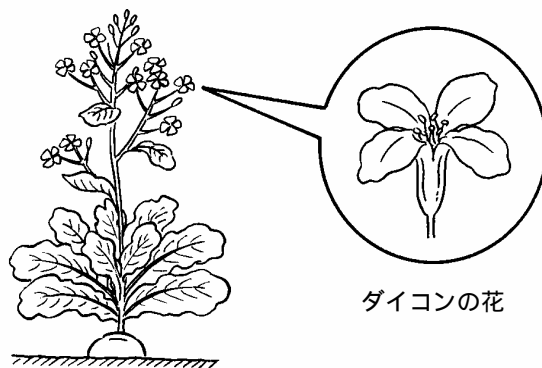
ダイコンは、菜の花と同じアブラナ科の植物です。栄養は太い根にたくわえられ、十分にたまった時期に、収穫されるため、花を見ることが少ないのです。しかし、そのまま畑においておけば、冬をこして春、くきが長くのび出し、紫色のアブラナにいた花が咲きます。そして、子房はさやのように、長くのび、中には種ができます。

春、郊外で、ダイコンの花と実が見られる

実際、農家では、翌年の種を取るために、畑に少しダイコンを残し、種をとる場合があります。春、郊外に出かけると、畑の片すみでふだんは目にするののないダイコン、ニンジン、ネギ、ホウレンソウなど、いろいろな野菜の花を見ることができます。

ダイコンの種は、園芸品店で売っている

浅い皿などに、水をよくすう綿やタオル地をしき、その上に種をまき、水でしめらせておけば、種は1日で発芽し、根がのびてきます。温度や光などをちがえて、根の出方をくらべてみましょう。  
(監修・中山 周平)



ダイコンの花

